

中核市に立地する書店の経営戦略 —岩手県盛岡市を事例に—

大竹 あすか

I はじめに

1. 研究背景と目的

地方都市を中心として書店数が減少している状況を踏まえ、地方都市の書店がどのような経営方針を取っているのか、そしてその経営方針に都市内部における構造が関係しているのかについて考察した。

2. 先行研究の検討

土屋ほか（1998）と秦（2015）が小売店分布研究の事例として書店の経営方針を論じている。しかし筆者の知る限りでは、書店の経営方針と都市内部構造の関係を論じた研究はほとんどない。

II 調査概要

1. 調査対象地と調査方法の概要

1) 調査対象地

調査対象地は岩手県盛岡市に設定した。盛岡市は人口

約30万の県庁所在地で、北東北地方¹⁾の拠点機能を担う中核市²⁾である。2017年の総務省家計調査では2人以上の世帯における書籍購入量は全国1位となっており、2010年～2016年は5位以内、2018年と2019年は15位以内を維持している。

2) 調査方法

2018年8月～11月の卒業論文での調査を踏まえ、2019年5月～8月に、盛岡市内の約30の書店から、新刊を扱う三つの経営母体が経営する3書店（図1）を選定し、経営戦略について調査した。調査方法は聞き取りであり、各書店の経営者を対象に行った。

2. 調査結果

聞き取りの結果、書店の経営形態によって以下の経営方針が見られた。

①個人書店A

A書店は2017年に開店した、原則として中古本を扱う

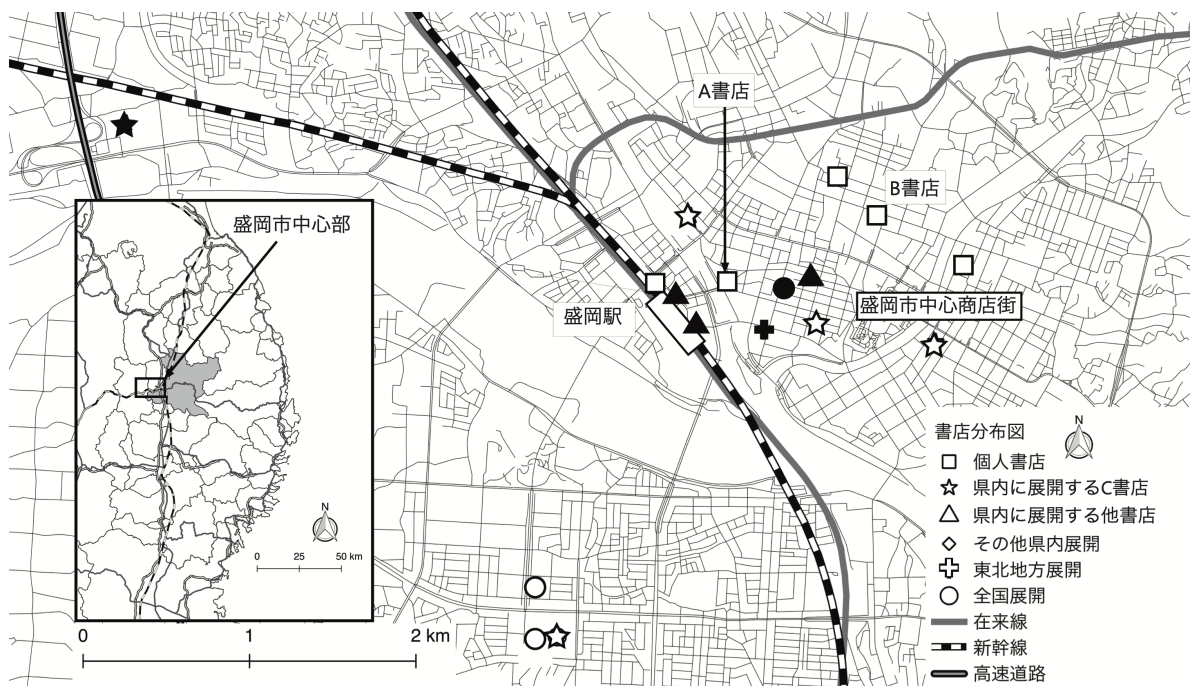


図1 調査対象書店の分布

（2018年8月～11月にかけて聞き取り調査を行なった店舗は記号を黒で塗りつぶした。国土数値情報をもとに筆者が2019年5月に現地調査で確認して作成）

カフェ形式の書店である³⁾。中心商店街周辺に勤める社員等を想定し、盛岡駅と中心商店街地区を結ぶ大通りの中間に位置している。

②個人書店B

B書店は1953年に創業した。主な顧客は書店付近に位置する岩手医科大学の学生と患者であったが、近年は減少傾向である。これは、2010年代から岩手医科大学が盛岡市南部の市町村に順次移転している影響を受けたからである。

③県内に展開するC書店

C書店は創業100年以上の歴史を持ち、市内に6店舗を展開している。教科書販売や読書感想文コンクールの開催、音楽教室など多様な事業と書店を連携させた「岩手の教育総合商社」という理念を掲げた経営を行なっている。これにより書籍に教育ツール（学校・家庭・生涯）という付加価値をつけることで、書店経営の基盤を形成することを試みている。

III おわりに

2018年～2019年にかけて実施した聞き取り調査全体から、書店の経営方針は都市内部構造と関係していることが示された。盛岡市では、都市内部の交通網や主要施設の配置が書店の立地を規定していた。さらに聞き取り調査からは、書店の立地条件として通行量の多さが必要であることが示唆された。盛岡市の都市計画が通行量に変化を及ぼすことにより、往来が減った地域に取り残された書店は経営に困難が生じていることや、往来が多い地域に新規書店が進出していることが明らかになった。

さらに盛岡市では、一つの都市の中において異なるスケールで経営を展開する書店が存在している。これは、盛岡市が盛岡市内、岩手県内、北東北地方内のスケールで中核市としての拠点機能を持っていることを示していると考えられる。

今回の研究を通じて2点の課題が挙げられる。1点目はほかの中核市においても書店立地と通行量の関係を立証することである。2点目は書店内における経営方針が変化した過程を考察することである。聞き取り調査では、新刊書籍の売上減少に伴い、新刊を取り扱う書店を中心に経営が多角化していることが指摘されていた⁴⁾。今後は、書店の立地条件と書店の経営形態の関係について分析する必要があると考えられる。

謝辞 この調査は自然地理学奨学金の助成により行なうことができました。調査先で協力してくださった方、ご指導いただいた先生方に感謝いたします。本文の内容は2019年9月に行われた日本地理学会秋季学術大会（於：新潟大学）で口頭発表を行いません。

注

- 1) 東北地方6県は一般的に北東北地方と南東北地方に区分される。北東北地方は青森県、岩手県、秋田県から、南東北地方は宮城県、山形県、福島県から構成される。
- 2) 総務省が定義する地方公共団体の区分に従った。
- 3) 経営者が副業で経営しているため、週4回程度の営業にとどまる。
- 4) 文房具、食品、雑貨等他業種の商品を同時に販売している。

文献

- 土屋 純・伊藤健司・海野由理 2002. 愛知県における書籍チェーンの発展と商圏の時空間変化. 地理学評論 75: 595-616.
- 秦 洋二 2015. 『日本の出版物流通システム—取次と書店の関係から読み解く』九州大学出版会.

おおたけ・あすか

博士前期課程ジェンダー社会科学専攻地理環境学コース

Corporate Strategies of Bookstores in a Core City: The Case of Morioka City in Iwate Prefecture

OHTAKE Asuka (Graduate student, Ochanomizu University)